



Washington Japanese Language School
(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

2018 年 9 月 1 日発行 第 16 号

校長 佐藤 良明

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

家庭学習のすすめ

「家庭学習のすすめ」冊子を作成しました。

この度、ワシントン日本語学校では、家庭学習の充実をめざし、様々な視点から、自らの学びを築くためのヒントとして、「家庭学習のすすめ」を作成し、ホームページに掲載いたしました。対象は、本校の児童生徒のみなさんや保護者の方々です。子ども達の学習習慣を確立するための一助として、ぜひ、ご家庭でご活用ください。

http://www.wjls.org/wjls2/files/parents/KateiGakusyu_no_Susume.pdf

「ファイル開封には、2018 年度保護者パスワードをご入力下さい。」

「家庭学習のすすめ」についての考え方

●ワシントン日本語学校（ワシントン補習授業校）は、毎週 5 日間授業を行う現地校と違い、日本国から配付された教科書を使って国語、算数・数学を中心に社会、理科（学年によって教科が異なる）の学習内容を 1 週間分凝縮して 1 日で学習しています。本校に通う子ども達も保護者の方も、学習内容が異なる現地校と日本語学校の両立をめざし努力しています。

●将来、子ども達がグローバル社会で生きる社会人として自立するための基礎となる英語と日本語で学習をすることにより、両国の文化の良さを学び、日本とアメリカの懸け橋になってくれることを期待してやみません。

●特にアメリカでの生活は、英語中心となるため日本語のより確かな維持・向上を図るためにも家庭での学習が重要となります。そこで、本校は、子ども達や保護者の方に少しでもお役に立てればと考え、『家庭学習のすすめ』を作成しました。

●これはあくまで、日本での「家庭学習の学び方」の一例です。各家庭でも「家庭学習」のスタイルがおりかと思いますが、子ども達の確かな日本語力をめざした家庭学習が、定着するよう参考にしていただければ幸いです。

●掲載 「ワシントン日本語学校ホームページ」からも見られます。
<http://www.wjls.org/academics/>

⇒「保護者」⇒「パスワード」⇒「家庭学習のすすめ」

家庭学習のすすめ

継続は力なり



ワシントン日本語学校

60 周年マスコット



昨年暮れ、「青い封筒募金」のお礼に差し上げたバッチの犬のイラストを覚えていらっしゃる方も多いと思います。

60 周年の T シャツに使われているワンちゃんです。名前はまだありません。

デザインを製作した方は、本校のファンドレイズ企画部のリーダーとして活動している安田歩美さんです。

今年の干支が戌（いぬ）なので犬の絵柄を 60 周年の記念のマスコットとして使用しています。



六〇周年 記念Tシャツ

●日本語学校創立 60 周年を祝う記念グッズ企画（ファンドレイズ）が行われています。運動会に間に合うように、Tシャツの受け渡し日が、**9月15日 9:15~10:00 カフェテリア4**で行われます。購入された方は、お忘れなくお願いいたします。



かけっこ タイム測定 小学1年生



タイム測定 小学2年生



昼休みを利用し、リレーの練習 中・高生

運動会から学ぶこと

運動会は、日本の学校文化でもあり、子ども達が、楽しみにしている行事です。教員になった40年前は、運動会のために1か月もかけて練習したのですが、最近は、授業時数の確保を優先して2週間程度に短縮しています。それでも、私も含めて先生方は、「練習が足りない。」とよく言ったものでした。

ワシントン日本語学校では、前週に予行練習があるものの、小学部低学年の1、2時間の練習を除き、高学年以上は、ほとんどぶっつけ本番で運動会を迎えます。2年前の運動会当日は、それまでの練習の様子を見ていて不安な思いがありました。各学年の出し物が最後まできちんとできるのか、入退場は、係の仕事は等々、心配な思いで当日を迎えました。でも、この不安は、開会してすぐに頭の中から消えていたのを覚えています。昨年も同様でした。心を一つにしてできた応援合戦、歯を食いしばり最後まで走り抜いた徒競走、力を合わせて取り組んだ学年演技、ひときわ歓声の渦に包まれた紅白対抗リレーなど、子ども達の姿に釘付けになりました。子ども達の顔は、一人一人生き生きとしていて輝いて見え、改めて子ども達の力は素晴らしいと感動しました。過去2年間、幸い好天に恵まれ、多くの保護者の応援を頂き、全ての演技・競技が滞りなく予定時間に終了しました。↑

さて、今年の開校60周年を記念する運動会、どのような感動のドラマが生まれるのか大変楽しみです。

動物作家の椋 鳩十（むく はとじゅう）さんは、『人間は素晴らしい』という本の中で、次のように述べています。

「人間は動物として生きるための力の他に、一人一人にそれぞれ別の力が与えられている。絵の上手な人、歌の上手な人、手先の器用な人、口の達者な人、全員それぞれ『素晴らしい力』をもっている。君たちは、自分の中に素晴らしい宝物をもっている。そういう力を出すために、勉強したり、本を読んだり、感動したりして自然と力が湧いてくるのだ。力が出たとき初めて『あっ、自分にこんな力があつたのか』と思うのです。」

一人一人がもっている「素晴らしい力」が発揮できるよう、自分を信じて、勉強や行事などたくさんの方に挑戦してほしいと思います。そして、アメリカの学校にはない、運動会という学校文化に触れることにより、友だちとの協力や助け合いの大切さも学んでほしいと思います。日本語学校での仲間との学びが、興味と感動を呼び起こすような教育活動となるよう努めて参りたいと思います。